

08/06・関税軽減措置、EUのみ 米官報、日本は対象外 赤沢氏訪米し直談判

- ・「野球契約金のようなもの」 対米 80 兆円投資巡りトランプ氏
- ・実質賃金 6 月 1.3%減 6 ヶ月連続 賞与の伸び、物価に届かず
- ・米貿易赤字 16%減 6 月 対中は 21 年ぶり低水準
- ・米家計債務 18.4 兆ドル 4~6 月 3%増 過去最大を更新 <1>

08/07・日本人の減少 最大 90 万人 外国人 11%増、労働力依存 <2>

- ・外国人政策 司令塔欠く 省庁・自治体、なお縦割り
カナダ、移民局が一元管理 韓国、全国に支援センター
- ・米関税、インド 50%に 25%追加 ロシア原油購入で制裁
米向け輸出 5 割超影響 モディ首相「農産物妥協せず」

08/08・浮体式洋上風力 15 ギガビット発電目標 経産省、40 年に 900 万世帯分

- ・仏、戦後初の人口自然減へ 出生率「優等生」に異変
気候変動や経済に不安 「早ければ今年」の見方
- ・経常黒字、上期 9.1%増 14.5 兆円、投資収益が拡大
- ・FRB 理事にミラン氏 CEA 委員長 トランプ氏が表明
1 月まで短期間 利下げ圧力一段と

08/09・膨張マネー、関税リスク覆う 世界株、発動後も堅調 <3>

- 日米欧で高値圏 AI 相場と共振 物価高再燃なら逆回転も
- ・ガザ戦闘再拡大にカジ イスラエル、制圧計画承認
- ・米ロ首脳会談「15 日」に トランプ氏 アラスカで開催
- ・インド調達シフト暗転 米企業「50%関税」で混乱

08/10・欧州利下げ打ち止め観測 関税合意で最悪想定回避 中銀内は見方割れる

08/11・米財務長官単独インタビュー「関税、不均衡是正なら氷解」 <4>

- 将来の縮小可能性示唆 「強いドル、基軸通貨を維持」
- ・英、民営化政策が転機に 水道劣化、鉄道は遅延や運休
サッチャー主義見直し インフラ、政府が再介入

08/12・日経平均が一時最高値 1000 円超高、4 万 2800 円台 <5>

- 米関税懸念が後退
- ・対中関税 90 日再延期 トランプ氏が大統領令
- ・米消費者物価 2.7%上昇 7 月 関税の価格転嫁進む
- ・エヌビディアと AMD 米政府に収入 15%納付 AI 半導体、中国輸出再開で
ゆがむ対中経済安保 同盟国の信頼失う恐れ 中国、使用見合わせ要請

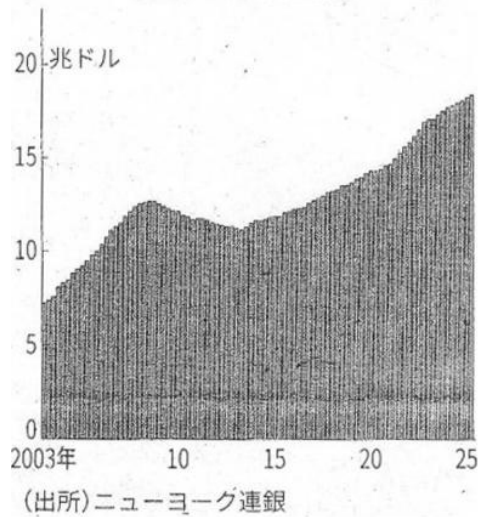
08/13・欧州、停戦急ぐ米に対案 「頭越し米ロ合意」回避へ <6>

- ・中国、レアアース囲い込み ミャンマーで検疫確保急ぐ

- ・米ロ会談「ウクライナ不参加」 米報道官「停戦合意難しく」
 - ・「FRB 議長提訴検討」本部工事費巡り トランプ氏、利下げ圧力
- 08/14・トランプ氏、欧州首脳らとオンライン協議 対ロシア停戦巡り方針
領土問題「交渉せず」トランプ氏から言質 ウクライナの安全、欧米で保証
- ・米「上納金」半導体以外でも 財務長官 対中輸出モデル拡大示唆
- 08/15・GDP 年率 1.0%増 4~6 月実質 5 期連続プラス <7>
関税下の「1%成長」 設備投資 1.3%増 年後半、手控えの動き
- 08/16・米ロ首脳、和平合意できず ウクライナ侵略 初の直接会談 <8>
- ・日経平均が最高値 4 万 3378 円、強い GDP 好感
 - ・首相、終戦の日式辞 13 年ぶり「反省」に言及
- 08/17・遠いウクライナ停戦 譲らぬプーチン氏主導権 対ロ制裁、当面見送り
トランプ氏、厚遇も成果示せず ゼレンスキー氏 18 日訪米
トランプ氏「領土交換」示唆 米ロ主導、ヤルタより危険
- ・アフリカと FTA 検討 政府、日本車輸出を促進 <9>
「FTA の空白」解消へ 経済連携遅れ挽回
- 08/18・ウクライナ防衛「NATO 方式容認」プーチン氏が譲歩か 領土割譲を迫る可能性
英仏独、領土一体を支持 ウクライナ東部 2 州割譲案をけん制
- ・円建てステーブルコイン 国内初承認へ JPYC、秋にも発行
 - ・イスラエルで大規模デモ 戦闘終結で人質解放求め 数十万人が参加
- 08/19・和平案にプーチン氏の罠 ウクライナに東部割譲を要求 <10>
キーウ制圧への布石か 「防衛要塞」外交で崩す
- ・米「安全の保証関与」表明 ゼレンスキー氏と会談 ロシアと 3 者会談調整
日豪含む 30 ヶ国参画へ ウクライナ「安全の保証」
 - ・欧州、ロシア傾斜にクギ 対トランプ氏、「関与」は歓迎
 - ・インド首相、プーチン氏と電話 米ロ首脳会談受け協議
 - ・中印首脳会談を地ならし 外相会談 国境問題や貿易協議

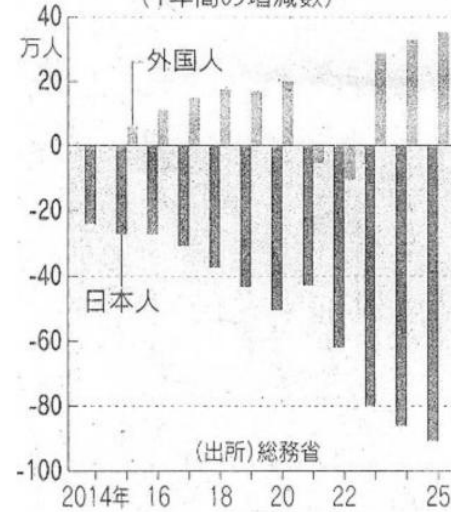
<1>

米家計債務残高



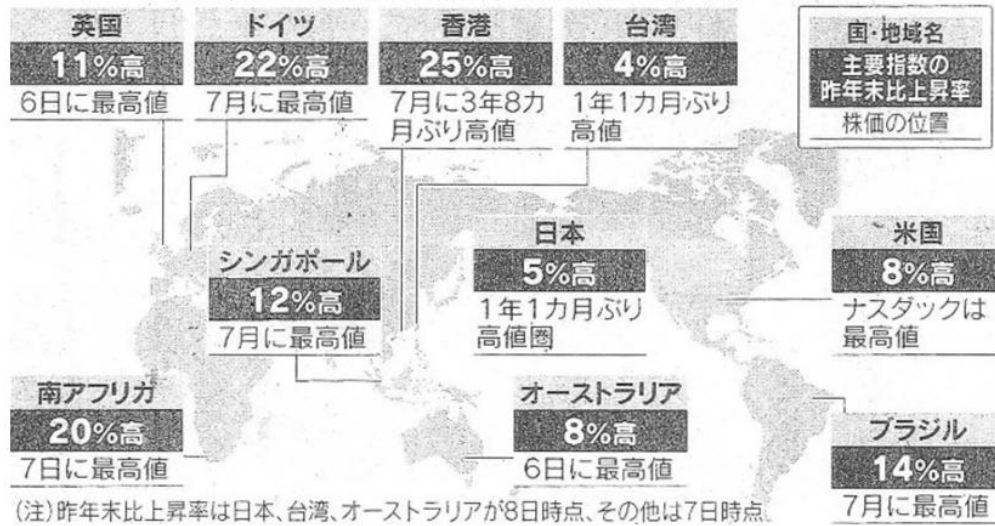
<2>

日本人の減少は加速している (1年間の増減数)



<3>

世界各国・地域で歴史的な同時株高に



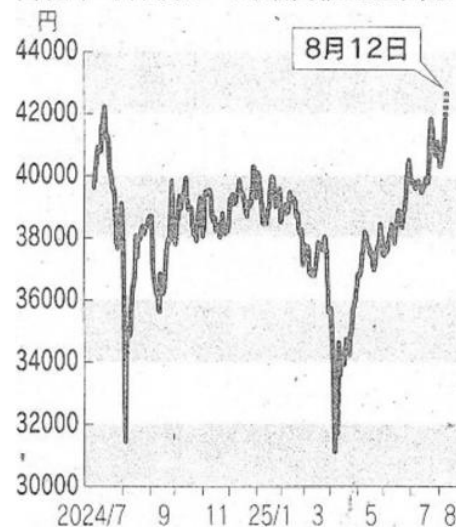
<4>

ベッセント財務長官の発言骨子

関税政策	重要な目的は国際収支のリバランスにある
	時間がたつにつれ、角氷のように溶けるべき存在
	自動車関税下げ、英国の約50日が1つの基準
通貨政策	強いドルとは基軸通貨としてのドルを維持する政策
	より海外資本を受け入れるために規制緩和と減税を実行した
金融政策	FRBの独立性が脅かされることは懸念
	日銀がインフレ率や成長率に焦点を当てて政策を進めれば、為替レートは自然と調整される

<5>

日経平均株価が一時最高値を上回る



<6>

停戦を巡る各国の主張

米国	■早期停戦を求める 「とにかく早く停戦を実現させたい」 (トランプ大統領) ■「領土交換案」に言及 「いくつかの領土を交換し、両者にとってより良いものにするつもりだ」(トランプ氏)
ロシア	■ウクライナ東部ルハンスク、ドネツク両州の割譲を要求。ヘルソン、ザポリージャ両州で攻撃停止(米メディア報道) ■ウクライナのNATO加盟放棄 「危機を引き起こした原因の根絶が最も重要」 (プーチン大統領)
ウクライナ・欧州	■領土や和平より停戦の交渉を優先 ■ウクライナ軍が撤退すればロシア軍も別の地域から撤退 ■NATO加盟を含むウクライナの「安全の保証」を確約(米側に伝えた対案、米メディア報道)

<7>

2025年4~6月期のGDP増減率の内訳

	実質	名目
GDP	0.3 (0.1)	1.3 (1.0)
年率換算	1.0 (0.6)	5.1 (3.9)
個人消費	0.2 (0.2)	0.2 (1.9)
設備投資	1.3 (1.0)	1.8 (1.6)
民間在庫	▲0.3 (0.6)	▲0.3 (0.5)
政府消費	0.0 (▲0.5)	0.5 (▲0.2)
公共投資	▲0.5 (0.1)	0.3 (0.7)
輸出	2.0 (▲0.3)	▲0.8 (▲0.4)
輸入	0.6 (2.9)	▲4.8 (3.7)

(注)前期比%、カッコ内は25年1~3月期、在庫はGDPへの寄与度、▲はマイナス

<8>

両首脳的主要発言のポイント

トランプ米大統領
非常に生産的な会談だった
多くの点で合意。まだ完全に合意に至っていない大きな問題がいくつかある
恐らくまたすぐ会うことになる
プーチン・ロシア大統領
危機の根本原因が取り除かれなければならない
ロシアの懸念が考慮される必要がある
米口関係を対立から対話へと修正しなければならない

<9>

日本が貿易相手として狙う主なアフリカ諸国

ナイジェリア	エジプト
人口はアフリカ最大。内需が拡大、エネルギー資源も豊富	日本車メーカーが多数進出
ガーナ	
西アフリカの物流ハブ	
東アフリカ共同体	ケニア
物流網が発達。高成長国多く、内陸は重要鉱物も豊富	
南アフリカ	
日本の主要貿易相手。自動車など輸出	

<10>

米ウクライナ首脳会談の論点

領土交渉	プーチン氏はウクライナ東部2州の割譲を要求。ゼレンスキー氏は拒否
安全の保証	NATOに類似した米欧によるウクライナ防衛をプーチン氏も容認
停戦と和平	トランプ氏は当初即時停戦を求めたが、米口会談後は領土交渉を含めた和平合意を優先
対口制裁	ロシア産原油を購入した第三国に関税をかける「2次関税」は発動見送り